

2020年4月7日

学生の皆さんへ

2020年度前期の授業開始再延期と遠隔授業化について(4月7日改訂)

学長 齊藤 言子
副学長・教務部長 立石 浩一

新型コロナウイルス感染症の影響は、首都圏のみならず、関西圏においてもさらに広がっており、本学と関連の深い大阪府、兵庫県においても、様々な形での外出自粛要請が出ています。4月8日午前0時発効の緊急事態宣言が出るのが確実な情勢の中、事態は本当に予断を許さない状況になっております。

このような状況下、4月3日付けにて、授業開始の2週間延期と一部の遠隔授業化について、お知らせをいたしました。

しかしながら、緊急事態宣言が現実のものとなった今、さらなる決断を余儀なくされましたので、それについてお伝えいたします。

基本方針と行動指針

前回のお知らせと重ねて改めて申し上げますが、大原則は、学生、教職員の健康の維持、これはどの大学であろうと、どの組織であろうと同じであると考えます。そのために、感染拡大を防止するため、本学は何が出来るのかを考える、これがすべての行動の原則です。本学の、3000人強の大学生・大学院生と中学部生・高等学部生が、1つのキャンパスに入れ替わり立ち替わり通学する状況で、感染症のさらなる拡大という現実を見ますと、到底緊急事態宣言が発効した時点で学生および教職員を通常形でキャンパスに受け入れることは出来ない状況である、これは、本学だけが例外ではなく、どこの大学・学校においても同様と考えます。

そこで、4つの方針を決定いたしましたので、お知らせいたします。

- 1 授業日程を、遠隔授業については5月7日開始、8月7日終了。対面授業については、5月14日開始、8月7日終了とします。遠隔授業については、今学期終わりまでその形態で開講されます。
- 2 対面授業については、実験・実技を伴う授業でやむを得ないもののみについて、例外的に開講されます。これについては、換気、学生教員お互いの間の距離を取る、身体接触をしない、機器の共有(例:通信タブレットの共有など)をしないといった、「三つの密(密閉・密集・密接)」を回避することに細心の注意を払って実施することといたします。一部遠隔で対面授業は最小限といった開講もあります。授業に関する情報は、本学ウェブサイトは何らかの形で掲載します。ですので、本学ウェブサイトをこまめにチェックしてください。
- 3 本学の実験設備など最小限の維持を必要とするものに関わるものを除き、原則4月9日より5月6日まで登校を禁止します。
- 4 事務室などは原則窓口業務を停止します。登録に関する事など、お問い合わせは窓口に来ず、基本的にはメールで行います。連絡先については、本学ウェブサイトに順次お知らせいたしますので、ウェブサイトを気を付けてチェックしてください。

遠隔授業実施に関する学生さんへのお願い(一部改訂の上再掲)

遠隔であろうと対面であろうと、また授業期間が何週であろうと、単位を修得するために要求される学修は変わりません。法律・省令により、1単位あたり1学期45時間の学修時間、2単位授業が大学では主ですが、この場合90時間が必要となります。このうち約3分の2は予習・復習、宿題、レポート作成などによって構成されます。この部分の原則は変更いたしませんし、大学として変更することは許されていません。遠隔授業で対応される先生方は、この大原則に基づいて、下記のどちらかの形で授業を提供するということとなります。

- 1 授業に関連したマテリアルの配信、及びそれについての意見交換・質疑応答によるオンデマンド型授業
- 2 チャット、ウェブ会議などを使った双方向型授業

本学のネット環境のありようから考えると、1が多数を占めると考えています。先生方の顔が見えにくいなど、いろいろと通常の授業とは異なる点があり、戸惑われると思います。しかし、先生方は通常の授業と同様に、学生の皆さんに単位修得に必要な十分な学修内容を与えるべく全力で取り組むということをお約束します。

それにあたって、学生の皆さんにお願いがあります。まずは、ご自宅、あるいは一人暮らしなどをされている方は、そこで必ずインターネット環境を整えて、パソコンを使える状態にしてください。携帯電話などでもできないことはないですが、パケット量などの問題で対応しきれなくなり、結果通信料が高額になる可能性があります。大手携帯電話会社が通信制限を外しましたが、提供される資料などの性質を考えると、やはりパソコンと適切なインターネット環境が無いと、難しいと思われます。ネットカフェなどには絶対に行かないでください。感染のリスク、感染を広げるリスクが拡大するだけであると、自覚してください。

神戸女学院大学の授業支援システムである、Moodle を使われる先生方がかなりの割合おられると思います。CSL ドメイン利用申請をきちんと行い、ID 及びパスワードを切らさないようにしてください。(新入生の皆さんには別途本学の PC 環境についてのご案内が届きますので、そちらをご覧ください)

学生の皆さんもそうですが、我々教職員も、今まで経験したことの無いことばかりの日々を過ごしています。今学期についても、特に学外の地域、海外とのやり取りが含まれる授業について、一部開講中止を余儀なくされるようなことがすでに起こっています。すべてがイレギュラーな中での新年度、大変申し訳なく思っています。しかし、少しでも良い学修(支援)環境を実現するため、大学と学生が共に努力し、より良い実りが得られるよう努めたい、このように願っています。

最後に

学外でも、実は学内でもそうですが、学生、教職員問わず、このような事態ですので行動について本当に注意しなくてはいけない、これは変わりません(本学ウェブサイト「行動に関する注意喚起」(<https://www.kobe-c.ac.jp/news/200330kansen>)参照)。お互いに、感染しない、感染させない、を心に止め、行動の自己管理をお願いいたします。授業開始が延期になったということは、その間遊んでいい、ということではありません。外を出歩くという行為自体が、自身が感染する、また人を感染させるリスクを生じさせているのだということを、常に心にとめてください。「自分は大丈夫」ではありません。

最後にお願いです。問い合わせは、本当に必要なもののみにとどめてください。ご不安なのは理解いたしますが、出来る限り自己解決を試み、どうしてもだめな場合のみお問い合わせください。

以上